

## 諫早干潟 野鳥誌掲載記事（2001-2000年分）

<農水大臣がついに諫早湾干拓事業の見直しを表明！>

(No.647 2001年11月号 p.42)

<有明海と諫早湾干拓事業をめぐる情勢 一日も早い干潟の回復>

(No.644 2001年7月号 p.37)

<諫早湾干拓事業の見直しを！ 有明海漁業 被害の拡大で緊急要請>

(No.641 2001年4月号 p.34)

<「干潟を守る日2001」>

(No.641 2001年4月号 p.35)

<諫早干潟のための緊急署名提出 >

(No.639 2001年2月号 p.28)

<有明海の干潟保全ワークショップ>

(No.631 2000年5月号 p.42)

● <活動>

農水大臣がついに諫早湾干拓事業の見直しを表明！（No.647 2001年 11月号 P.42）

かつて日本一のシギ・チドリ類の渡来数を誇り、今は大規模干拓によって壊滅的な打撃を受けている諫早湾に、回復の道筋が見えてきました。防災と農地造成の名のもとに干拓事業を推し進めてきた責任者である農水大臣が8月28日、ついに事業の見直しを表明したのです。

国営諫早湾干拓事業は着手以来10年以上を経過したため（1986年着工）、事業者である農水省九州農政局が事業再評価（いわゆる「時のアセス」）を行うことになり、農業経済学などの専門家5名からなる「国営事業再評価第三者委員会」により専門的な検討を進めていました。そして8月24日、第三者委員会は諫早湾干拓事業について「環境への真摯かつ一層の配慮を条件に、事業を見直されたい」という画期的な答申を発表したのです。これを受けた武部勤農水大臣は間を置かず「防災機能の十全な発揮、概成しつつある上地の早期利用、環境への一層の配慮、予定された事業期間の厳守の視点に立って、農と緑と水辺空間の実現が達成されるよう、総合的な検討に着手した」として、事実上の事業見直しを公表しました。

6月の設置以来、第三者委員会に対し、市民、漁民、マスコミから多くの疑問の声がぶつけられ、また「市民による諫早干拓『時のアセス』」（諫早干潟緊急救済東京事務所、同本部、WWFジャパン）のような理論的な批判も公表されたことが、この結果につながったといえます。本会長崎県支部は第三者委員会への要請行動に2度にわたり参加し、また8月23日には会として諫早干潟緊急救済本部などの呼びかけによる緊急アピールにも連名しました。

見直しにはなお大きな課題があります。武部大臣は記者会見で、かつての干拓の中心部分である西側工区については干拓の続行を示唆していますが、これでは諫早湾干潟はわずかしか戻らず、鳥たちの生息環境は復元しないばかりか、諫早湾の水質浄化能力も一部しか回復しません。潮受け堤防の存在によって有明海の潮流と干満差の阻害は解消されないままなので、有明海の漁業被害も解消されない恐れもあります。そこで本会は9月7日、WWFジャパン、日本自然保護協会と連名で上のような提言を農水大臣宛に提出しました

今後も諫早湾と有明海の保全と回復のために運動を続けます。急展開する諫早情勢にご注目ください。（自然保護センター）

### 諫早湾干拓事業の見直しに対する環境NGOからの5つの提言

1. 「環境への配慮」としては、諫早湾内での干潟生態系の復活を最重点とすること
2. 西工区についても農地造成をさらに見直し、干潟の復活を基本とした土地利用とすること
3. 潮受堤防排水門の拡幅・増設等による海水交換の促進を積極的に検討すること
4. 干潟再生・水門開放調査と両立する防災 対策を早急に実施すること
5. 事業見直しの総合的な検討に市民や専門家の意見を広く採り入れること

★諫早湾関連の情報はインターネットでもどうぞ

農水大臣記者会見は

<http://www.kanbou.maff.go.jp/kouhou/before/010828daijin.htm>

「時のアセス」第三者委員会の記録は

[http://www.maff-kyushu-nn.go.jp/syoukai/saihyouka/jigyou\\_saihyouka.htm](http://www.maff-kyushu-nn.go.jp/syoukai/saihyouka/jigyou_saihyouka.htm)

● <活動>

有明海と諫早湾干拓事業をめぐる情勢 一日も早い干潟の回復を

(No.644 2001年 7月号 P.37)

自然保護センター副所長 古南幸弘

諫早湾は、有明海の子宮と言われてきました。その有明海の環境問題が深刻化し、諫早湾干拓事業の是非をめぐる議論が続いています。本誌4月号でもお伝えしたように昨年12月からのかつてない規模の赤潮の発生により、有明海一円のノリ養殖業は莫大な損害を受け、佐賀、福岡、熊本の有明海沿岸各漁協は、この「有明海異変」の原因について諫早干拓主因説を唱えて干拓工事中止を迫りました。谷津義男農水大臣（当時）は1月末、諫早湾の潮受け堤防の排水門の開放に言及、農水省は2月、生態学や工学の研究者11名と有明海沿岸4県の漁業者代表4名による「有明海ノリ不作等対策関係調査検討委員会」（通称「第3者委員会」）を設置しました。

第3者委員会は4月19日、排水門を開門して海水を出入りさせ、干拓工事の影響を調査することを決めました。しかし現況調査のため実際の開門時期は1年後以降とされており、今後の不漁による漁業者の破産、有明海漁業経済の壊滅といった事態が考慮されていません。また干拓工事は東半分は凍結されたものの、陸側の西半分の工区については不明で、この関西側の工事が進行してしまえば、1年後に水門開放が実現したとしても、干潟だった部分の大きな面積が元に戻せなくなってしまうおそれがあります。

そこで本会は諫早干潟緊急救済本部、諫早干潟緊急救済東京事務所、日本湿地ネットワーク、世界自然保護基金（WWF）ジャパン、日本自然保護協会と連名で5月14日、武部勤農水大臣と第3者委員会の清水誠委員長にあてて、次の内容の要望書を提出しました。

**「諫早湾の潮受け堤防排水門を開門した調査に関する要望書」**

1. 諫早湾排水門の長期開放調査ができる限り早急に実施すること。
2. 諫早湾干拓事業の中央干拓地西工区工事を凍結すること。
3. 開門調査に向けた準備課題に早急に取り組み、速やかに対策を実施すること。

この夏から秋にかけては、諫早湾干拓事業について、事業再評価（長期にわたる事業を見直すためのいわゆる「時のアセス」）と、1985年以来行われている環境アセスメント追跡調査のレビューが行われます。これらの機会に、事業の効果が薄く弊害が大きいこと、海水の干満を復活させ干潟を回復して諫早湾を再生させることが、シギ・チドリやズグロカモメといった野鳥たちだけではなく、有明海沿岸の漁業者を始めとする多くの人々にとっても重要であることを強く訴えていきます。

諫早湾に関するインターネット情報

●農水省の有明海ノリ被害対策に関する資料は  
<http://www.jfa.maff.go.jp/ariakenori/index.html>

●「市民による諫早干拓『時のアセス』」は  
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~isahaya/>

● <活動>

諫早湾干拓裏業の見直しを！ 有明海漁業 被害の拡大で緊急要請

(No.641 2001年4月号 p.34)

1月26日、本会は諫早干潟緊急救済本部、同東京事務所、WWFジャパン、日本湿地ネットワークと連名で、川口順子環境大臣と谷津義男農水大臣に対して、「諫早湾干拓事業の見直しと諫早湾干潟の再生を求める緊急要請」を行いました。有明海沿岸一円では昨年12月から、ノリ養殖に大きな被害（プランクトンの異常増殖のためノリが黒くならない「色落ち」）が広がっており、地元の漁協はこの主な原因を諫早湾干拓事業と見てています。与党や農水大臣もこれを重視し「有明海ノリ不作対策本部」を設置して調査を開始しましたので、これに対し、諫早湾及び有明海の生態系の再生を目指して調査・対策を行うことを要請したものです。



日本一のシギ・チドリ類の渡来数を誇っていた諫早湾ですが、1997年4月、干拓事業のために湾の入口を全長7キロメートルもの潮受堤防で締め切られ、3,550ヘクタール（山手線の内側の半分強の面積）もの広大な面積の干潟と浅海域を失ってしまいました。現在は、潮の干満を失って巨大な干潟は消え、毎水を浄化する機能が失われたばかりか、淡水化に伴って水質悪化が進行しています。春の渡りのピーク時に1万羽を超えたシギ・チドリ類は、今ではほとんどゼロに近い悲惨な状況となっています（長崎県支部調べ）。

諫早湾の締め切り以降、有明海では赤潮の発生件数が急増、高級な寿司ねたとなるタイラギという二枚貝やアサリ養殖、ワカメの不作などの環境悪化、漁業被害が続いている。これに加えてノリの「色落ち」が深刻化し、福岡県・佐賀県・熊本県のノリ漁業者の死活問題にまで発展しています。野鳥たちへの影響が、ついに人にまで及んでしまったのです。

このような局面を受けて、有明海の環境悪化・漁業被害の解決のためには、諫早湾干拓事業を根本的に見直し、諫早湾干潟を再生して諫早湾の豊かな生態系を回復させることが緊急の課題と考え、次の要望を行いました。

1. 有明海の環境の悪化について、国として科学的な調査を行う。方法や結果について情報を開示する。
2. 水質浄化を図るため、諫早湾内の漁業への影響に配慮しながら、諫早湾の調整池を再

び汽水化し、干潟を回復させるための水門操作を行う。

3. 調整池の水質悪化の要因の一つである内部堤防工事を中止する。
4. 潮受堤防の水門を開放するにあたり、必要な防災対策の検討を行う。
5. 水門の常時開放・水門の拡幅・潮受堤防の撤去を含めて諫早湾の干潟を効果的に回復させる措置の検討を開始する。その措置が与える一時的な影響について予測し、必要な漁業補償等も行う。

(自然保護センター)

## ● <活動>

「干潟を守る日 2001」

4月14日（諫早湾締め切りの日）は干潟を守る日 (本会後援)

(No.641 2001年4月号 p.35)

1997年4月14日、それは長崎県の諫早湾が干拓事業のために締め切られ、広大な干潟が消滅することになった日です。その日を忘れないために、毎年4月14日を「干潟を守る日」としました。毎年、潮干狩りや春の渡り鳥のシーズンでもあるこの時期に、干潟・湿地の保全を求める行動を、全国の団体が連携しながら行っていこう・・・これが「干潟を守る日」キャンペーンです。

今年も4月から5月にかけて全国で干潟・湿地の保全をアピールする活動が展開されます。各地でのさまざまなイベントにぜひご参加ください。

主催：干潟を守る日 2001 実行委員会

TEL／FAX：03-3986-6490

ホームページ：<http://www5d.biglobe.ne.jp/~higata/>

後援：(財) 日本野鳥の会／(財) 世界自然保護基金ジャパン／(財) 日本自然保護協会／日本湿地ネットワーク

### ■干潟を守る日 2001 現代座公演

- ・「虹の立つ海～未来からのうたごえ」

6月／千葉県、埼玉県、北海道／現代座劇場文化研究所／042-381-5165

### ■干潟を守る日 2001 in 宮城

- ・蒲生海岸自然観察会

5/6 9:30／仙台市：蒲生海岸／蒲生を守る会／022-223-5025 (木村)

### ■干潟を守る日 2001 in 山形

- ・西茨湿原・水芭蕉ウォーク

4/15 9:00／鶴岡市・西茨湿原／ウォータ・ワッチ・ネットワーク／0235-28-3338 (草島)

### ■干潟を守る日 2001 in 千葉

- ・ムダな公共事業ストップ－財政問題と三番瀬

3/11 13:00／市川市勤労福祉センター（本館）／三番瀬を守る署名ネットワーク／0471-84-8333

6 (竹内)

- ・三番瀬自然観察会

4/1 10:00／船橋市・三番瀬／千葉県野鳥の会・日本野鳥の会東京支部／047-477-4551 (杉本)

- ・小櫃川探鳥会

4/1 9:30／木更津市・小櫃川河口干潟（盤洲干潟）／日本野鳥の会千葉県支部／047-437-6521 (土曜 15:00～18:00のみ)

- ・行徳（新浜）自然観察会  
4／8 10：00／市川市・行徳（新浜）／千葉県野鳥の会／047-434-9824（田久保）
- ・三番瀬を守ろう！梅原司平トーク&コンサート  
4／14 16：30／千葉県船橋市民文化ホール／三番瀬を守ろう！梅原司平トーク&コンサート実行委員会・三番瀬を守る会／047-425-1508（田原）
- ・三番瀬探鳥会  
4／15 10：00／船橋市・三番瀬／日本野鳥の会千葉県支部／047-437-6521（土曜15：00～18：00のみ）
- ・谷津干潟自然観察会  
4／15 10：00／習志野市・谷津干潟／千葉県野鳥の会／047-477-0803（野崎）
- ・講演会「汀線の自然史」  
4／21 13：30／船橋市立海神公民館／千葉の干潟を守る会／047-473-3402（大浜）
- ・谷津干潟探鳥会  
4／22 10：00／習志野市・谷津干潟／日本野鳥の会千葉県支部／047-437-6521（土曜15：00～18：00のみ）
- ・映画で干潟とまちを考える“毎日が大漁日”  
4／28 18：00／船橋市中央公民館講堂／三番瀬D o会議／03-377-8566（松村）
- ・谷津干潟探鳥会  
4／30 9：30／習志野市・谷津干潟／日本野鳥の会埼玉県支部／048-832-4062（海老原）
- ・谷津干潟探鳥会  
5／5 9：30／習志野市・谷津干潟／日本野鳥の会埼玉県支部／048-832-4062（海老原）
- ・盤洲干潟小櫃川河口域クリーン作戦&観察会  
5／13 9：30／木更津市・盤洲干潟小櫃川河口域／盤洲干潟をまもる会／0439-27-3002（藤平）
- 干潟を守る日 2001 in 東京
  - ・諫早干拓「時のアセス」シンポジウム  
4／8 13：00／文京区民センター／諫早干潟緊急救済東京事務所／03-3986-6490（矢嶋）
- 干潟を守る日 2001 in 神奈川
  - ・干潟の大切さと魅力を知ろう  
4／14 10：00／銀嶺幼稚園AVホール（横浜市神奈川区）／銀嶺幼稚園・同保護者会／045-421-0808
- 干潟を守る日 2001 in 埼玉
  - ・蓮田市黒浜沼探鳥会  
4／30 8：45／蓮田市・黒浜沼／日本野鳥の会埼玉県支部／048-832-4062（海老原）
- 干潟を守る日 2001 in 栃木
  - ・渡良瀬遊水池探鳥会  
4／1 9：15／渡良瀬遊水池／日本野鳥の会埼玉県支部／048-832-4062（海老原）

## ■干潟を守る日 2001 in 長野

- ・いやはや諫早 海なし県の信州人は海苔が大好きー山国から干潟を考えるー

### (1)現地報告「諫早湾の現状と公共事業のあり方」

4/21 18:30 /長野県松本勤労者福祉センター

### (2)水辺の生き物観察会「花と鳥と虫と川とビールで感じる信州の春」

4/22 10:00 /県営鳥川渓谷緑地ビオトープ広場（雨天決行）／安曇野環境ふおーらむ「八面大王」／0263-728901（長坂）

## ■干潟を守る日 2001 in 福井

- ・春の野みちと食いしん坊&江ざらい体験（中池見湿地）

4/22 10:00 /敦賀市・中池見湿地／「中池見湿地トラスト」ゲンゴロウの里基金委員会／0776-278725（森）

## ■干潟を守る日 2001 in 愛知

- ・干潟探検隊、春の渡り鳥ウォッチング

4/8 10:30 /名古屋市・藤前干潟／藤前干潟を守る会／052-735-0106（辻）

- ・六条潟春の大潮干狩大会

4/28 13:00 /六条潟／六条潟と三河湾を守る会／090-3306-1286（山本）

- ・藤前干潟生きものまつり

5/6 10:00 /名古屋市藤前干潟／藤前干潟を守る会／052-735-0106（辻）

- ・汐川干潟探鳥会

5/13 10:30 /豊橋市・汐川干潟・境川河口／東三河野鳥同好会／0532-65-1056（藤岡）

## ■干潟を守る日 2001 in 大阪

- ・淀川十三干潟の野鳥観察会

4/8 9:30 /淀川十三干潟／（社）大阪自然環境保全協会「淀川自然観察会」／0724-44-4312（中野）

- ・大阪の干潟を守る探鳥会（大津川）

4/10 10:00 /大津川／日本野鳥の会大阪支部／0725-92-1186（納家）

- ・大阪の干潟を守る探鳥会（男里川）

4/10 9:30 /男里川／日本野鳥の会大阪支部／0724-53-3521（長谷川）

- ・干潟の生き物をさがして・みよう！

4/22 10:00 /淀川海老江干潟／（社）大阪自然環境保全協会「淀川自然観察会」／06-6328-5628（和田）

- ・南港野鳥園“ひがた”の春ーどんな渡り鳥や生き物がいるのでしょうかー

5/6 10:00 /大阪南港野鳥園／南港グループ'96／06-66614-0580（高田）

## ■干潟を守る日 2001 in 兵庫

- ・甲子園浜探鳥会「春のシギ・チドリ」

4/28 13:00 /甲子園浜／日本野鳥の会兵庫県支部「浜甲プロジェクト」／06-6421-2687（長江）

## ■干潟を守る日 2001 in 広島

- ・松永湾探鳥会  
4／22 9：00／松永湾／日本野鳥の会広島県支部／0849-34-0781 (石井)
- ・八幡川探鳥会  
4／30 9：00／八幡川河口 右岸水鳥の浜公園／日本野鳥の会広島県支部／0829-56-1354 (日比野)

## ■干潟を守る日 2001 in 徳島

- ・春の第十堰は不思議がいっぱい！  
4／14 13：00／吉野川第十堰北岸／とくしま生協／088-698-0505
- ・吉野川河口・沖洲海岸観察会  
4／15 9：00／吉野川河口南提水門・11：00／沖洲海岸南側橋付近／日本野鳥の会徳島県支部／088-625-7439自宅・088-654-6969会社 (山内)
- ・干潟の達人になろう (吉野川干潟)  
4／22 10：00／吉野川河口・住吉干潟／とくしま自然観察の会&吉野川ひがた事務所／088-623-6783 (井口)

## ■干潟を守る日 2001 in 香川

- ・カヌーツーリング屋島海岸&春日川干潟  
4・5月毎日 10：00～17：00／カヌーショップハリバー (高松市)／090-8287-5388 (佐野)
- ・ひがたの探鳥会 (新川河口)  
4／29 9：00／高松市・新川河口／日本野鳥の会香川県支部／090-4783-9520 (大川)
- ・ひがたの探鳥会 (花畠／姫浜海岸)  
4／29 9：00／花畠・姫浜海岸／日本野鳥の会香川県支部／090-8695-3120 (真鍋)

## ■干潟を守る日 2001 in 愛媛

- ・重信川河口探鳥会  
4／14 8：00／重信川河口南岸／日本野鳥の会愛媛県支部／089-941-0623 (岩本)

## ■干潟を守る日 2001 in 福岡

- ・博多湾クロツラヘラサギツアーア  
3／24／博多湾和白干潟・今津干潟／博多湾の豊かな自然を未来に伝える市民の会／092-542-5514 (松本)
- ・博多湾・今津探鳥会  
4／1 9：00／福岡市西区今津／日本野鳥の会福岡支部／092-807-3103 (田中)
- ・博多湾・和白探鳥会  
4／8 9：00／福岡市東区・和白干潟／日本野鳥の会福岡支部／092-606-0012 (山本)
- ・報告会「韓国の干潟見聞録 (セマングム、始華湖、洛東江)」  
4／8 13：30／ふくふくプラザ602号／博多湾会議／092-608-0788 (脇)
- ・曾根ウォッチング・干潟でカフェテリア  
4／8 10：00／北九州市・曾根干潟／曾根千潟を守る会／093-672-7315 (山本)

- ・和白干潟のクリーン作戦&ネイチャーウォッチング

4／28 15：00／和白干潟・海の広場／和白干潟を守る会／092-606-5588（田中）

■干潟を守る日 2001 in 長崎

- ・「山下弘文氏追悼全国集会」急げ！諫早干潟と有明海の再生

(1)講演会 4／14 13：00／諫早文化会館中ホール／

(2)干潟見学 4／15 10：00／諫早干潟／

「山下弘文氏追悼全国集会」急げ！諫早干潟と有明海の再生実行委員会／0957-254206（江崎）

- ・アースデイ・イサハヤ

4／14・15／諫早市・本明川河川敷と白浜棧橋／アースデイ・イサハヤ実行委員会／0957-360113（原田）

■干潟を守る日 2001 in 熊本

- ・不知火海球磨川河口シギ・チドリ探鳥会

4／15 13：30／八代市・球磨川河口／八代野鳥愛好会／0965-333-5447（高野）

■干潟を守る日 2001 in 大分

- ・野鳥観察と干潟でお茶を

4／15 11：00／中津市東浜／中津干潟を守る会／097-543-8135（木船）

- ・想い出の海の写真コンテスト（中津干潟）

4／17～22／シーサイドギャラリー（中津市東浜）／水辺に遊ぶ会／0979-23-5320（足利）

- ・中津干潟観察会

4／22 13：00／中津市東浜／水辺に遊ぶ会／0979-23-5320（足利）

■干潟を守る日 2001 in 沖縄

- ・泡瀬干潟の理め立て問題を考える市民シンポジウム

4／14／沖縄市／泡瀬干潟を守る連絡会／090-1872-6948（藤井）

※主催者の都合や天候上の理由などで日程や内容が変更になる場合もあります。イベント内容の詳細は各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

## ● <活動>

諫早干潟のための緊急署名提出 (No.639 2001年2月号 p.28)

11月29日、本会は日本湿地ネットワーク（代表：辻淳夫氏）らと共に「諫早湾干拓事業の見直しを求める緊急要請」を農水大臣、首相、環境庁長官あてに提出いたしました。これは日本湿地ネットワークの呼びかけで行われたもので、本会を含めた158団体と2,000人以上が署名しました。

要請の内容は次の2点です。

1. 国営諫早湾干拓事業を、緊急に見直す公共事業の対象にすること。
2. 謫早湾潮受け堤防の水門を開放し、事業の見直しによる代替策の検討がすむまで、事業を中止または凍結すること。

諫早湾干拓事業は、シギ・チドリ類の日本最大の渡来地を犠牲にして進められており、与党の公共事業見直しの対象には入っていません。しかし事業開始から15年が経過し完成年次も大幅に遅れているため、平成13年度には農水省による事業再評価（いわゆる「時のアセス」）が行われることになっています。この際の議論が公正に行われることが、今後のポイントとなってきます。

当日夜は関係団体により、署名提出の報告と諫早干潟緊急救済本部の故・山下弘文氏を偲ぶ集会も行われました。諫早干潟を守る運動の中心となっていた山下弘文氏は昨年7月、66歳の若さで急逝されましたが、この悲しみを乗り越え、山下氏の遺志を継いで諫早干潟の回復を求めていくことが出席者の間で確認されました。

### 干潟を守る日2001参加団体募集中！

「干潟を守る日2001実行委員会」（本会も委員として参加）が、干潟・湿地の保全をアピールするキャンペーンへの参加団体を募集しています。

「干潟を守る日」は、諫早湾が締め切られた1997年4月14日を忘れないため、この日の前後に各地で行われる各種行事を通じて、連携してアピールしようというもの。昨年は本会の支部など40以上の団体の参加により、全国的な活動となりました。

対象は、4～5月に干潟・湿地やその保全に関わる行事を開催する団体。実行委員会では参加団体の行事一覧の入ったチラシ、ポスターを作り、ホームページに掲載、保全アピールと共にマスコミ等へ広く広報します。

### 申し込み方法

電話、FAX、またはEメールで「参加希望」の旨、下記まで。折り返し参加確認書が届きます。

- 綿め切り：2月10日（土）
- 参加費：1口5千円（チラシ300枚・ポスター10枚分）
- 申し込み・問い合わせ先：「干潟を守る日2001実行委員会

〒171-0032

東京都豊島区雑司が谷3-7-3 ベルビューモンロイ

諫早干潟緊急救済東袁事務所内

TEL & FAX：03-3986-6490

Eメール：isahaya@msj.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www5d.biglobe.ne.jp/~higata/>

（自然保護センター）

● <活動>

有明海の干潟保全ワークショップ (No.631 2000年 5月号 p.42)

**全長 7 km の高速道路**

2月 19、20 日に佐賀市で「有明海の干潟とシギ・チドリ類の保全と環境教育を考えるワークショップ」が開催されました。このワークショップは世界自然保護基金日本委員会の主催で、本会佐賀県支部が協力して開催されたものです。参加者は延べ 60 名、本会事務局からは自然保護センターの小林とサンクチュアリセンター・油山自然観察の森の東チーフレンジャーなどが参加しました。

本会長崎県支部、佐賀県支部、福岡支部、熊本県支部が合同で実施した有明海シギ・チドリ類一斉調査の報告や、千葉県の谷津干潟自然観察センターにおける環境教育活動の事例報告などが行われたほか、今後の有明海でのシギ・チドリ類調査やどのように干潟を保全していくかといったことについて熱心な議論が行われました。(自然保護センター)